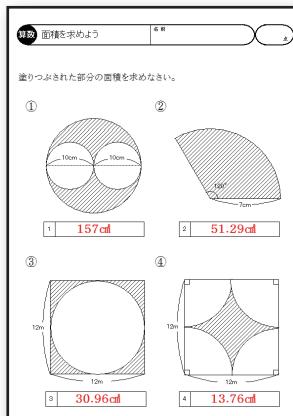




レイヤーを使って問題用紙と模範解答を切り替えよう



問題用紙に正解を書き入れた模範解答を作成してみましょう。教材スタジオなら、台紙の上に重ねることができる透明フィルムのような「レイヤー」が備わっているから便利。各レイヤーは独立しているので、問題用紙を配置し、上のレイヤーに正解を入れるといった使い方ができます。



コネクタくんからのアドバイス!

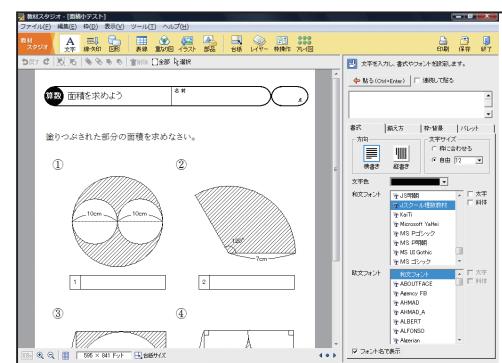
各レイヤーは表示／非表示を切り替えられるから、1つのファイルから問題用紙と模範解答を別々に印刷できるよ。

問題用紙を作成する

1 問題用紙を作成します。



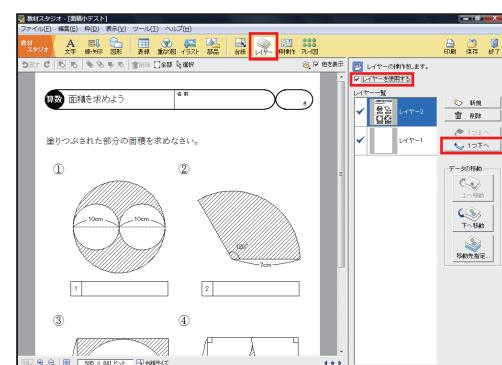
タイトル部分や解答欄の作成はバックナンバー「部品を活用して算数・数学の教材を作ろう」をご参考ください。



解答を入力する

1 コマンドバーの [レイヤー] をクリックし、レイヤー設定画面を表示します。

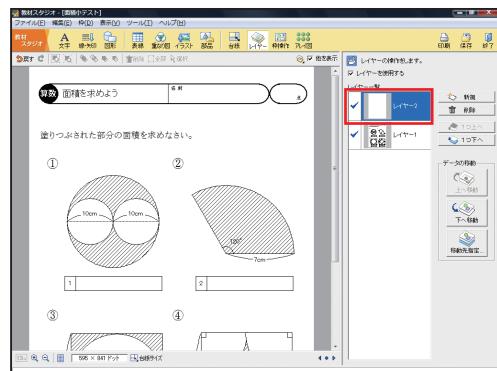
[レイヤーを使用する] にチェックを入れ、一覧で [レイヤー 1] が選択されているのを確認したら、「1つ下へ」をクリックします。



- 2 レイヤーが下に移動したのを確認したら、[レイヤー 2] を選択します。

One Point

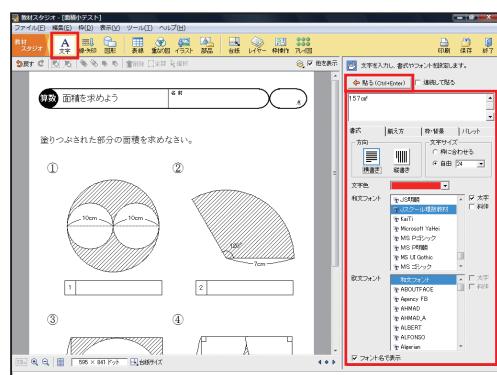
これ以降に描く图形や文字は、レイヤー 2 に配置されます。



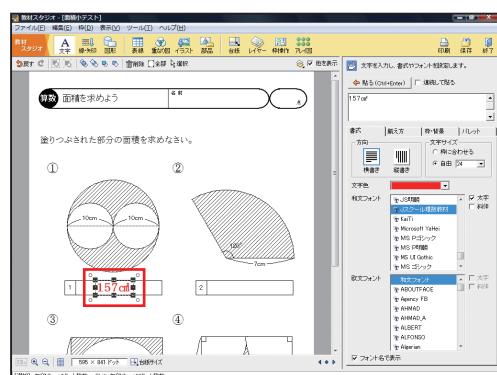
- 3 コマンドバーの [文字] をクリックし、文字設定画面を表示します。

文字色を赤に変更し、必要に応じてフォントや文字サイズを指定します。

文字の入力欄に解答を入力して、 ➔ 貼る (Ctrl+Enter) をクリックします。



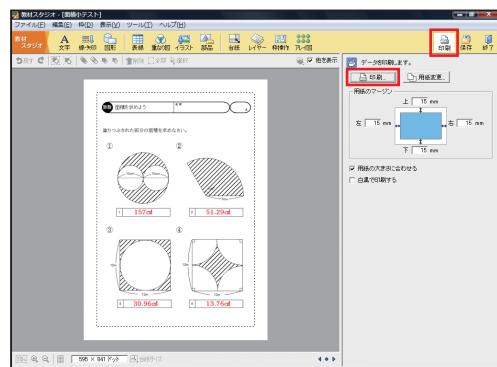
- 4 編集画面の左上に解答が貼り付くので、ドラッグして移動します。



模範解答を印刷する

- 1 すべての解答を入力したら、コマンドバーの [印刷] をクリックし、印刷設定画面を表示します。

マージンなどの設定を確認し、 ➔ 印刷... をクリックします。

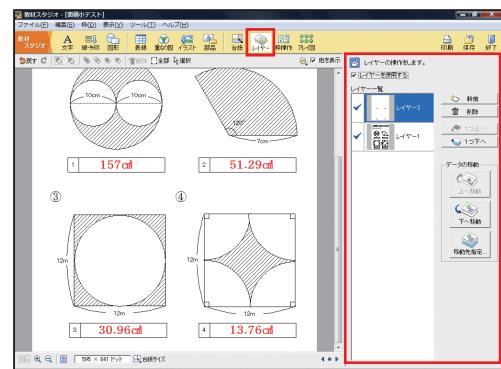


- 2 [印刷] ダイアログボックスで使用するプリンタを選択し、[OK] をクリックして印刷を開始します。



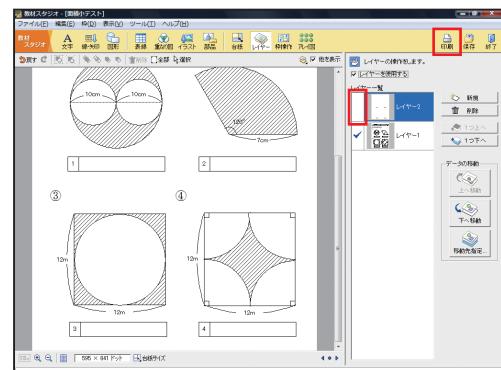
問題用紙を印刷する

- 1 コマンドバーの [レイヤー] をクリックし、レイヤー設定画面を表示します。



- 2 レイヤーの一覧で、[レイヤー2] の をクリックして非表示にします。

コマンドバーの [印刷] をクリックし、模範解答と同様の操作で問題用紙も印刷します。



ちょっとアレンジ!

図形を別のレイヤーに移動する

作成した図形は、あとから別のレイヤーに移動できます。さまざまな図形を一気に作成し、うまくできた図形だけを別のレイヤーに集めるといった使い方もできるので便利です。

- ① コマンドバーの [レイヤー] をクリックし、レイヤー設定画面を表示します。

- ② レイヤーの一覧で、移動させたいデータがあるレイヤーで図形を選択し、 [下へ移動] または [上へ移動] をクリックします。移動先のレイヤーを指定したい場合は、 [移動先指定] をクリックしてレイヤーを選択します。

- ③ [移動先指定] をクリックした場合は、[データの移動先指定] ダイアログボックスで、移動先のレイヤーを選択して [OK] をクリックします。

